

**大雪災害に『絆』で備える**  
神奈川県海老名市から  
除雪機を借り受け

3月17日、海老名市から借り受けた除雪機2台が、学校給食センターと若草つどいセンターにそれぞれ配備されました。これは、平成22年に宮城県白石市、神奈川県海老名市、登別市の三市で締結した『危機発生時における相互応援に関する協定』に基づくもので、三市はこれまでも災害発生時などに物資や人材の提供など、相互に協力してきました。

今回の貸与は、登別市からの依頼により実現したもので、市は、昨今増加している大雪災害などに備え、除雪機を活用します。

3/17



▲特大証書で記念撮影を行う卒業生



▲海老名市から借り受けた除雪機

**特大の思い出と共に**  
青葉小学校卒業式

3月18日、市内7小学校で卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、式の時間を短縮するなどの対策を講じる中、新たな門出に期待を膨らませた児童たちが卒業しました。

青葉小学校の校舎前には、PTA、あおば元気な会、青葉地区子ども会育成連絡協議会が作成した縦2.3メートル横2.6メートルの特大の卒業証書が設置されました。

式を終えた39人の卒業生たちは、特大証書を前に満面の笑みを浮かべながら記念撮影を行っていました。

3/18



▲青空のもと春風を受けて泳ぐこいのぼり

**のぼりべつの味が高評価**  
チーズ『ピエール・カレ』  
『北のハイグレード食品2022』に認定

『のぼりべつ牛乳』『のぼりべつとろろプリン』『登別チーズ ニュービアンカ【乳白華】』などが登別ブランド推奨品に認定されている株式会社「のぼりべつ酪農館」のチーズ『ピエール・カレ』が、優れた道産加工食品に贈られる『北のハイグレード食品2022』に認定されました。

地元産の生乳で作る『ピエール・カレ』は、塩水で表皮を洗いながら日本の酵母菌で熟成させたウォッシュタイプチーズ。地元産の食材へのこだわりと香り高い風味が認定につながりました。

**こいのぼりが青空を泳ぐ**  
郷土資料館にこいのぼりを設置

4月5日、郷土資料館の敷地内に大小さまざま、色とりどりのこいのぼりが掲げられました。

こいのぼりの設置は、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』と市内業者の協力によって毎年行っているもので、今年もまだ寒さが残る中、子どもたちの健やかな成長を願い、たくさんのこいのぼりが設置されました。

春の風を受けてたなびくこいのぼりは、5月5日の『こどもの日』まで郷土資料館の空を泳ぎます。

4/5



▲認定されたチーズ『ピエール・カレ』